

「これからの四日市港を考える」～産業を支える伊勢湾の役割と今後の展望～
アンケート調査結果

四日市商工会議所
四日市港管理組合
中部地方整備局

「産業を支える伊勢湾の役割と今後の展望」をテーマに、シンポジウムを開催いたしました。シンポジウム開催時に実施した四日市港の発展に向けた今後の取り組みに関するアンケート結果について、お知らせいたします。

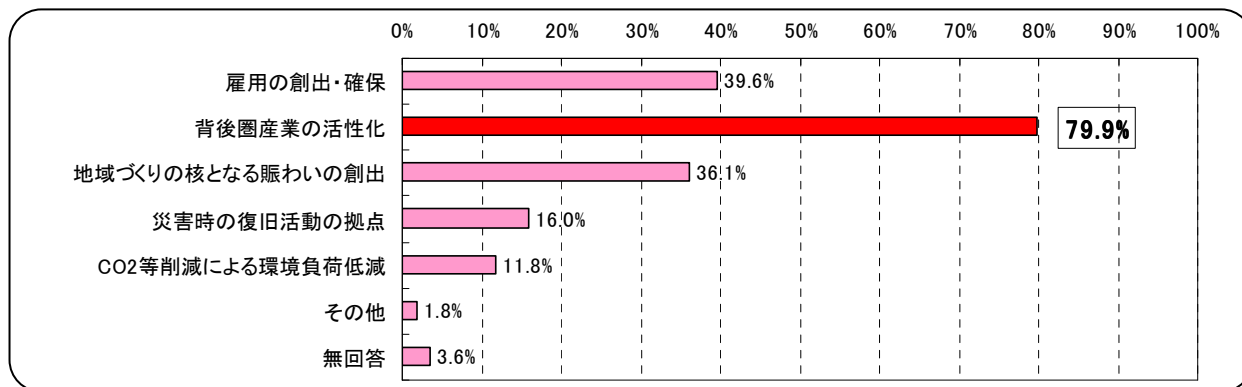
【シンポジウム開催概要】

- 開催日時 平成22年5月27日(木) 14:00～16:30
- 開催場所 四日市商工会議所 1階ホール
- 主催者 四日市商工会議所
- 共催 三重県、四日市市、四日市港管理組合、中部地方整備局
- 後援 四日市港利用促進協議会、四日市港運協会
- 開催内容
 - ①基調講演「地域主権の時代における四日市港の産業ハブ港湾戦略」
三重大学特命学長補佐(社会連携担当) 渡邊 悌爾 氏
 - ②パネルディスカッション「産業を支える伊勢湾の役割と今後の展望」
コーディネーター: 名古屋産業大学名誉学長・特任教授 伊藤達雄氏
パネリスト:
四日市港管理組合 副管理者 石垣 英一 氏
東ソー(株)四日市事業所 理事事業所長 前田 由博 氏
本田技研工業(株) 生販物流部 部品物流室鈴鹿部品物流ブロック ブロックリーダー 岩下 尚嗣 氏
四日市港運協会 会長 小林 長久 氏
三重大学特命学長補佐(社会連携担当) 渡邊 悌爾 氏
- 参加者数 302名

【アンケート結果の概要】 回答者数は169名、回答率は56.0%

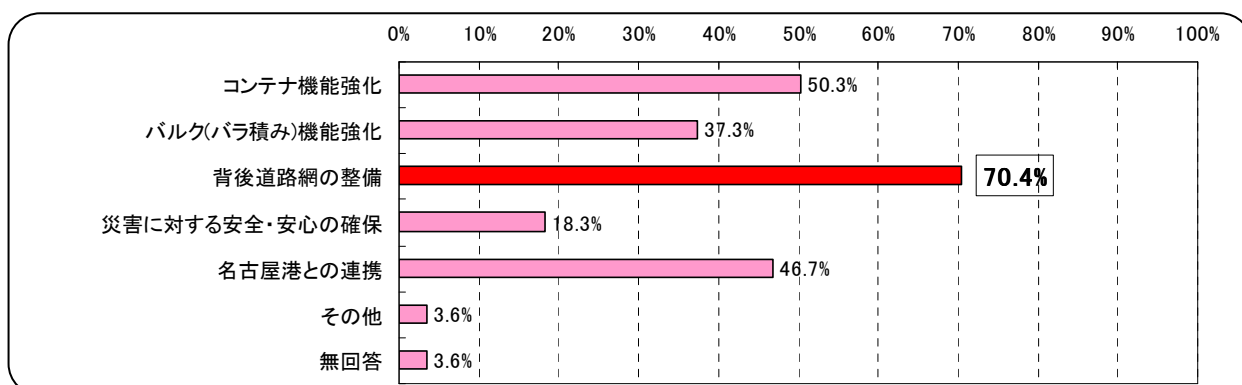
1. 四日市港の役割について (n=169、複数回答)

- ◆ 「背後圏産業の活性化」との回答が79.9%と多数の意見のほか、「雇用の創出・確保」39.6%があり、地域産業等の活性化について、四日市港への期待度の高い結果となった。
- ◆ また、「地域づくりの核となる賑わいの創出」が36.1%との結果となり、交流の場としての期待の高さも窺える結果となった。



2. 産業を支える伊勢湾(四日市港)の役割を果たすための取組について (n=169、複数回答)

- ◆ 「背後道路網の整備」との回答が70.4%と最も多く、背後道路網の整備が急務であることがわかった。
- ◆ また、「コンテナ機能の強化」(50.3%)や「名古屋港との連携(一開港化 等)」(46.7%)の取組を望む方も多かった。



3. 自由意見欄

44名の方から、個別意見を頂いた。

<港湾整備全般に関する意見>

- ・ 四日市港長期構想、…地域の核づくりとしても、本構想を力強く推進して頂きたい。
- ・ 四日市港を中心とした「ウォーターフロント」構想の基早急に企画立案して欲しい。
- ・ 官民の協調(臨海部企業&官)が必要
- ・ 四日市にある産業は、輸出産業であるといっても過言ではなく、四日市港のさらなる発展を期待しています。
- ・ 暮らしや産業を支える港の役割の重要性を再認識。企業の海外シフトによる我が国のものづくり産業の空洞化するようなことは避ける必要がある。
- ・ 現状の課題が浮き出てきた。その為のなすべき事を至急仕上げて取り組むべきと思う。この地域の発展のため、鈴鹿と四日市を一体と考えて取り組むべき。
- ・ 専用岸壁全面の維持浚渫を要望される民間企業が多数ある。土砂処分費に高いコストをかけ、海洋投棄を余儀なくされている。各社の戦略の一つに船舶の大型化による輸送コスト減が挙げられるが、土砂処分について官側でも考慮頂きたい。

<物流機能強化に関する意見>

- ・ 日本中、世界中から人の集まる港づくりが必要。船の出入が難しい港では将来の発展は望めない。
- ・ 海外では、大型コンテナが主流であること。日本でも是非採用すべきだと考えた。
- ・ 日本の輸出の中心は中部＝名古屋・四日市であることから、スーパー中樞港湾のNO.1と強く推進されたい。企業活動維持のため、災害時に強い港湾整備を望む。
- ・ 地の利はあるが、他の大港湾と比べてコンテナ岸壁数が少ない。ハード整備が進まないと「なくてはならない四日市港」にはなれない。物流が増えないと、ハード整備も進みませんがハード整備には時間がかかる。物流量に合わせたタイムリーな対応を。
- ・ 四日市港利用促進、国際競争力アップの為に大型船化に伴う浚渫水深確保が必要。
- ・ 国際物流の効率化のため、合理的な航路(ルート)を積極的に整備すべき。
- ・ 24時間ゲートオープンを早く進めてください。無償を希望！
- ・ 世界では超大型船(17万GT、L=497m、幅56m(コンテナ22列)、喫水16m)が走っている。本当に国際競争に勝てる港湾整備できるのか。
- ・ 四日市港は伊勢湾に物流を集約するならば、航路(伊良湖)整備も併せて行う必要がある。
- ・ 伊勢湾国際コンテナ戦略港湾を是非応援させて頂きます。ものづくりの基地として重要な拠点として計画通り進むことに期待します。

<交通アクセスに関する意見>

- ・ 四日市港の道路アクセスの混雑緩和、利便性向上が大きな課題と感じた。
- ・ 道路事情の整備が港の発展のためには重要であり、急がれると感じた。
- ・ 四日市港への交通アクセス最重要課題はJR線で東西に地域が分断されている。跨線橋整備が必要。
- ・ カスミ4号線、早期をお願いします。
- ・ 背後圏の活性化の為に道路整備に取り組んで欲しい。

<広域連携に関する意見>

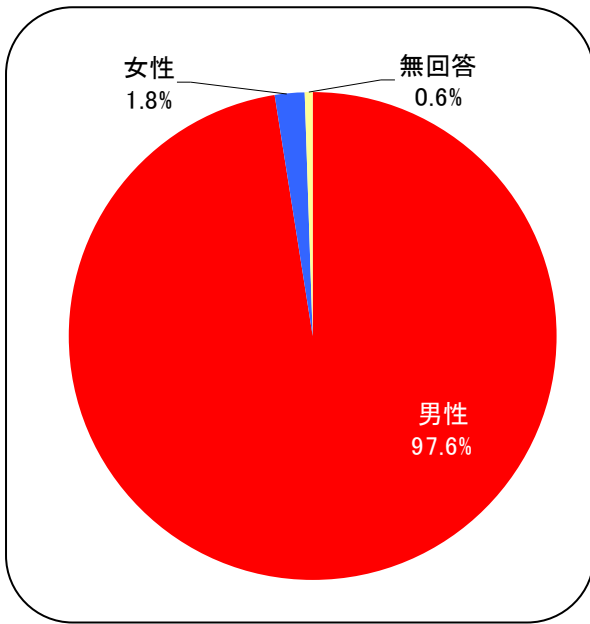
- ・ 「中部空港と四日市・名古屋港の一体化」: 港運協会会長の意見は良かった。
- ・ 名古屋港との連携について具体的にイメージできるような議論を深めてもらいたい。

<講演・パネルディスカッションに関する意見>

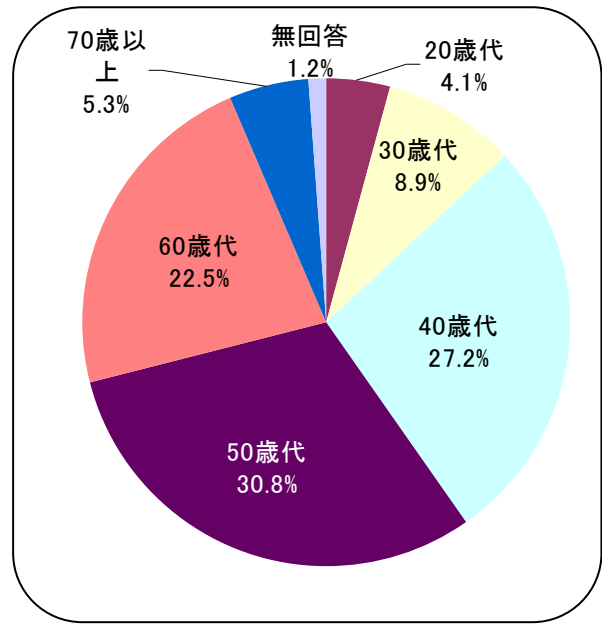
- ・ 可能性の説明に終始したが、その実現のための負の事情の説明がされていない。それから始めるべきだ。
- ・ 東京周辺に資金が集中している。どのように四日市へ持ってくるのが問題。
- ・ 京浜港、阪神港との差別化を図る戦略について具体的な内容を明らかにして頂ければさらにシンポの内容が良かった。
- ・ 四日市港に関係するパネリストであり適任でもあったが、客観的な見解がなかった。

参考1)回答者属性について

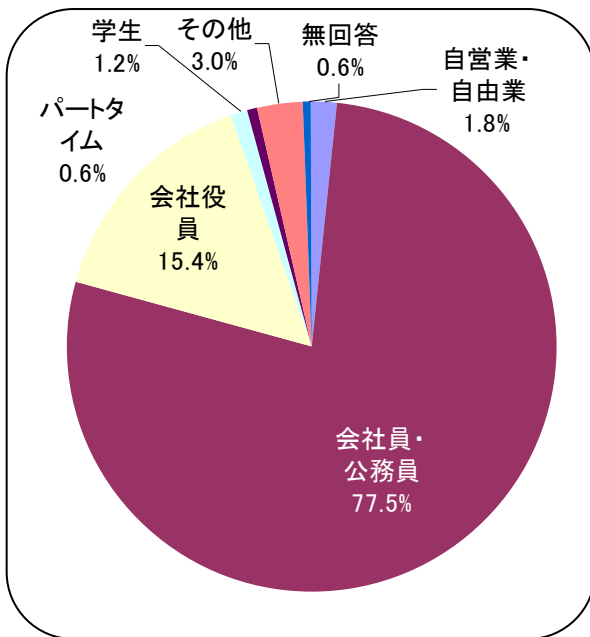
ア) 性別(n=169)



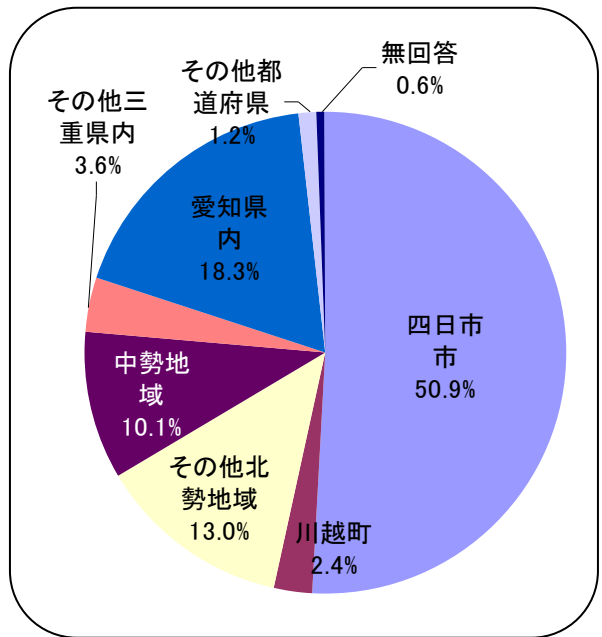
イ) 年齢層(n=169)



ウ) 職業(n=169)

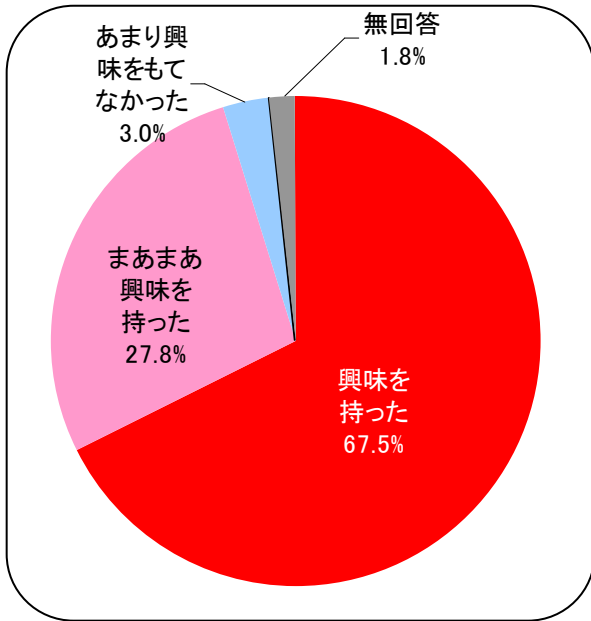


エ) 居住地(n=169)

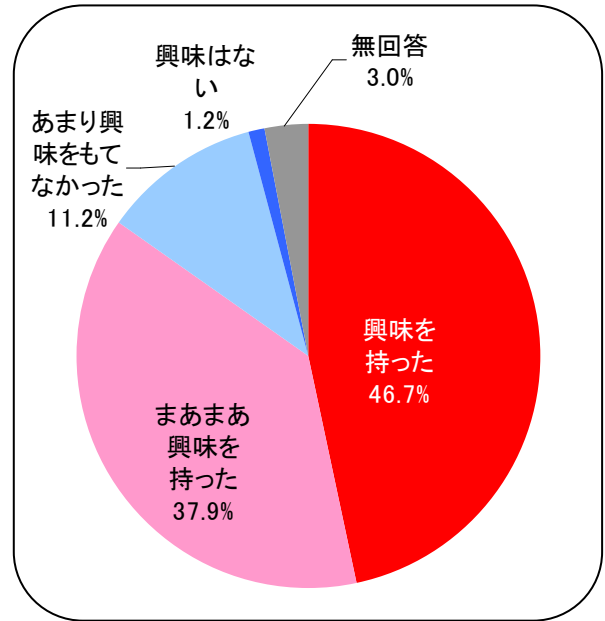


参考2)シンポジウムの開催について

① シンポジウムの趣旨(n=169)



② 基調講演(n=169)



③ パネルディスカッション(n=169)

